

雲南農協、島根県農協共済グループからカーブミラーを寄贈

秋の交通安全運動期間中の9月26日、雲南農協、島根県農協共済グループから町へ道路反射鏡(カーブミラー)15本を寄贈して頂きました。

当日は石原代表理事常務、三原共済部保全課長、杉谷統括支所長が役場を訪れ、趣意書と目録を岩田町長へ手渡しました。

今回寄贈を受けたカーブミラーは各地区からの要望などを考慮して早急に設置し、交通事故の防止に役立てていく予定です。



作刀技術の向上を 日刀保たたら鍛錬場で 研修会

島上地区の日刀保たたら鍛錬場において、九月二十六日から九月二十九日まで日本美術刀剣保存協会の主催による「作刀技術実地研修会」、九月二十八日から十月五日まで文化庁主催の「美術刀剣刀匠技術保存研修会」が開催されました。

この研修会は、伝統技術の後継者養成と刀匠の技術向上を目的に、毎年全国からの作刀関係者が集まり行われています。

「作刀技術実地研修会」では、日本を代表する五名の刀



▲作刀技術の研修に励む参加者

匠から作刀の一連の工程を三年間学びます。

また「美術刀剣刀匠技術保存研修会」では国選定保存技術保持者の木原明村下らから、たたらと玉鋼の品質などの講義を受けた後、一週間をかけ日本刀の製作を行いました。

この研修では、各工程で審査を受け合格すれば文化庁から終了証が授与され、更に条件を満たせば刀製作の承認が得られるようになります。

鍛錬場は、作刀関係者の熱気で満ち溢れていました。

永久の平和を願う 奥出雲町戦没者追悼式

九月十七日、奥出雲町戦没者追悼式が町、奥出雲町社会福祉協議会の主催でカルチャープラザ仁多において開催されました。

今年には戦後六十年の大きな節目の年に当たりますが、世界では大きな紛争が続いています。

式には遺族、関係者など約二百二十名が参列し、町長の式辞、一分間の黙祷の後、八百九十三柱の御霊に對し出席者全員で献花を行いました。

遺族会代表の目黒聰さんは「二十一世紀に入ってもイラク戦争をはじめ、世界各地での紛争は後を絶たない現状です。戦争ほど不毛なものはなく、戦争を回避と諦めず、戦争の悲惨さ、無意味さを全世界に粘り強く訴えていくのが私たちの使命」と追悼の辞を述べ、永久の平和を誓いました。



▲献花をする参加者

私たちは戦争の悲惨さを後世へ伝え、不戦の決意を新たにしなければなりません。